

幸楽会だより vol.12

大阪音楽大学同窓会会報

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》広報委員会編集

- 02 会長挨拶・幸楽会推薦入学について
- 03 2010年度総会報告・学生アンサンブルコンテスト
- 04 支部紹介
- 06 支部は今・リレー随筆
- 07 同窓会報告
- 08 第44回幸楽会コンサート



第44回幸楽会コンサート



Welcome to

2011年度 総会

・在校生アンサンブルコンテスト・懇親会(無料) etc.

日時: 2011年4月29日(金・祝) 14:00~

会場: ミシニアムホール

【挨拶】

会長 松尾昌美

昨年4月の幸楽会総会におきまして、皆様のご推挙により会長就任をお受けして以来、はや一年が経とうとしております。

大学発行の「ミュージズ」におきまして、就任のご挨拶を掲載させていただきましたが、すべての幸楽会会員の皆様には今回の「幸楽会だより」で、改めてご挨拶を申し上げます。

母校は五年後には創立百周年を迎え、幸楽会会員も近々三万四千人に達しようとしております。



しかし、皆様もご承知の通り昨今の少子化や経済状況などの世相の変化により、音楽のみの単科大学として長い歴史を持つ母校入学者は、最盛期の三分の一程度になっております。それは母校の繁栄に陰りを落とすのみにとどまらず、同窓会である幸楽会の運営にも反映してきております。

ここ数年、幸楽会は会員相互の親睦、支部の充実、在学生との交流、社会に対するアピールを込めた会員によるコンサートなどの活動を通して充実をはかって参りました。従って、それらの事業には相応な援助を行い成果をあげて参りました。勿論今後とも可能な限り続けて参りたく思っておりますが、この様な情勢の中ではすべてに十分なことはできない状況になっております。そこで、同窓会にとって今一番必要なことに絞って集中的に事業を行っていきたく考えております。

言うまでもなく、同窓会は母校あつての同窓会であり、母校の繁栄無くして同窓会の繁栄はありません。従って、私たちの当面の目標を、一人でも多くの才能ある学生を母校へ送り込む事を第一の活動にしたいと考えております。

ご承知の通り、2007年より母校の入学試験に「幸楽会推薦」枠が設定され、2010年までに302名の学生が合格してしております。最多の年には89名が合格してありますが、本年度は55名と、少し減っております。

この学生の皆さんを推薦して下さった幸楽会会員の方の数は、延べで341人の方々です。これらの会員の方々には、幸楽会としても深甚なる感謝を申し上げます。

今後は会員の皆様が一人でも多く「幸楽会推薦」にご協力いただけますよう、幸楽会といたしましてもそれに関わる支援を惜しみなくさせていただきますと考えております。同時に、会員推薦で入学した学生の中で特に優秀な成績の方には、幸楽会からの奨学金を贈る制度も考えております。

来る母校百周年を迎えるに当たり、母校がさらなる充実と繁栄を迎えられるよう、会員の皆様のご協力を切に願ってやみません。

幸楽会
特別推薦入学へのご協力
ありがとうございます。

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部推薦入学試験に同窓会《幸楽会》特別推薦が導入され、これまで5回の試験が行われました。その間、皆様には多大なご協力を賜り、母校の学生募集に大いに貢献することができています。ここに感謝を述べますとともに5年間の認定取得者数と推薦して下さった方々の都道府県別人数を報告させていただきます。今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
申込者	大学・短大	51	57	46	46	44
	短大のみ	24	35	34	22	14
	計	75	92	80	68	58
認定取得者	大学	30	36	37	28	32
	短大	42	53	39	37	26

推薦者の在住都道府県

都道府県	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
大阪	24	33	29	28	25
兵庫	17	29	23	23	17
奈良	10	10	9	0	4
京都	6	3	4	10	5
滋賀	3	3	1	0	2
和歌山	1	1	2	1	0
愛知	1	0	0	0	0
三重	1	0	0	0	1
福井	1	0	0	0	0
石川	0	1	0	0	0
岐阜	0	0	1	1	0
鳥取	1	0	1	0	0
香川	0	1	0	0	0
徳島	0	1	0	2	0
広島	0	0	1	0	0
岡山	0	0	0	1	0
熊本	1	0	0	0	0
埼玉	1	0	0	0	0
ドイツ	0	0	1	0	0
合計	67	82	72	66	54

2011年度幸楽会特別推薦入学試験結果

大学			短大		
学科・専攻	志願者数	合格者数	コース	志願者数	合格者数
作曲学科	1	1	作曲	0	-
作曲専攻	1	1	声楽	2	2
音楽学専攻	0	-	ピアノ	10	10
声楽学科	11	11	管楽器	4	4
器楽学科	20	20	弦楽器	1	1
ピアノ専攻	17	17	打楽器	1	1
オルガン専攻	0	-	邦楽	0	-
管楽器専攻	0	-	ジャズ	0	-
弦楽器専攻	2	2	ポピュラー	5	5
打楽器専攻	1	1	ミュージカル	0	-
邦楽専攻	0	-	電子オルガン	0	-
合計	32	32	合計	23	23

2010年度総会と懇親会

2010年4月25日(日)午後2時より母校ミレニアムホールで幸楽会2010年度総会が行われました。

当日は天候に恵まれ、総会に先立って行われた卒業生のためのオープンキャンパスには多くの方が参加され、「ばうぜ」での弦楽アンサンブル・模擬レッスン・キャンパスツアーなど今の母校を見ていただきました。

総会は北野事務局長の開会宣言後、矢野会長の挨拶と続き、会長退任にあたって感謝の言葉が述べられました。議長は山口宏美氏が選出されました。議題に基づき、新入会員(2010年度卒業生)439名、新入準会員(2010年度入学学生)346名の入会が承認されました。

会則の第1章総則の第3条が「本会は学校法人大阪音楽大学の発展に寄与し、会員相互の交誼を綿密にし音楽文化の向上を図ることを目的とする」と変更になりました。

2009年度事業報告・同会計報告が説明され監査報告の後承認され、2010年度事業計画・同予算案も承認されました。

提案された新たな給付型の奨学金については、もう少し検討の余地があり、来年度の総会に再度、議題



として出すことになりました。

会長選出について、選出委員会の水谷一郎委員長より経過報告があり、松尾昌美氏が満場一致で選出され、新会長として母校を支援していく体制を整えていくとの挨拶がありました。事務局長は北野徹事務局長が再任され、承認されました。続いて、広島県東部支部の藤原勢子支部長より午前中に実施された支部交流会の報告があり総会を終了しました。

総会終了後は、予選を通過した3組の演奏による学生アンサンブルコンテストが行われました。懇親会は「ばうぜ」に場所を移し、楽しいひと時を過ごしました。

幸楽会役員一覧表 (※委員長)

会長 松尾昌美

副会長 川上孝子

事務局長 北野 徹

会計監査 梶谷正治

総務委員会 油井美加子

※岡 昇

植田加奈子

前さとし

※田中 勉

木村貴子

古賀章太

八軒康浩

三宅知次

※徳弘博士

川端真人

下村芽美

※財務委員会

※澤井宏仁

塩津洋子

山名公子

井上敏典

林 誠

栢本義臣

井上敏典

関口康祐

横川久美

市ノ瀬佳子

坂口菜里

山口宏美

浅井康子

小川哲生

小西潤子

日名弘見

森 宏

飯守伸二

高 昌帥

高 昌帥

片岡リサ

西川綾子

湯浅 契

坂下百合子

水谷雅男

油井美加子

2010年4月25日

幸楽会「学生アンサンブルコンテスト」

出演者の声

1位 「金管八重奏」

8人のメンバーは、学部籍・短大籍のメンバーが混在していて、練習時間も思うように確保できず、表現や旋律の奏法について激しい議論もあった。それでも、8人いることが弱みになるのではなく、その弱みすら強みに変えて、「素晴らしい音楽をつくる」という大きな目標のもとに1丸となり、少ない時間・機会ですべての力をそそぐことができた。この場に立てたのだと思ふ。これからも初心を忘れず真剣に音楽と向き合って成長していくことを誓います。



2位 「バリ・チューバ四重奏」

練習を通して心がけていたのは、メンバーの4人が強い個性、表現意欲をつぶさず、個性がぶつかりあうことをバンドの個性に昇華させていくことでした。バンドでの活動は音楽性のみならず、人間性を鍛え伸ばしていく活動なのだと実感しています。今後は技術を鍛えることはもちろんのこと、さらに1段上



3位 「クラリネット四重奏」

の目標として、より音楽性の高さを追究していきたい。バリ・チューバ四重奏といえども、まるでヴァイオリンが奏でるような繊細で奥深い、音楽の極みの世界を目指したいと考えています。

音楽の感動を届けたいという一念で、4人で力を合わせ取り組んで来ました。今回の曲は普段私たちになじみの薄いラテン調の曲でしたので、ラテン音楽を聴き、研究することからスタートしました。そこから特徴的なリズム表現やアクセントなど、相互に議論を重ね、ひとつの音楽を創り上げて来ました。このメンバーで老人ホームへの慰問演奏活動も行っているのですが、童謡などを演奏すると本当にみなさん喜んでくださいます。これからも、聴いてくださった方に感動を届けられる音楽家を目指し、活動を続けて参ります。



2011年度 総会

2011年4月29日(金・祝)
14:00 ~ (受付開始 13:30)
大阪音楽大学 ミレニアムホール

♪学生アンサンブルコンテスト本選
総会の後、17日の予選を勝抜いた3組が演奏します。皆様の審査で金賞・銀賞・銅賞が決まります。

懇親会 15:30 ~
学生食堂 ばうぜ

♪立食パーティー 会費無料。
学生アンサンブルコンテストの結果発表。

奈良県支部 支部長:山本壽太郎

2011年6月19日(日)1時、第27回大音コンサート、秋篠音楽堂、演奏申込締切:4月末日、事務局FAX:0742-27-2459

ソロ・アンサンブルなど毎回多彩なプログラムで会場全員の校歌合唱で終演。和やかな集いです。卒業後の日頃の精進をぜひ披露してください。

和歌山県支部 支部長:新田博昭

和歌山県支部は本年も4月29日(祝)午後1時30分より県庁前の音楽文化堂2Fにて支部総会とミニコンサートを開きます。

そして6月25日(土)午後1時30分より和歌山市民会館小ホールにおきまして、第20回幸楽コンサートを開催いたします。第1部は和歌山県支部会員によるソロ・デュエット・アンサンブルなどを計画しておりますのでふるって参加してください。第2部は20回を記念して母校の神谷徹先生をゲストとしてお招きして盛大に開催いたします。

写真は2010年7月10日(土)県民文化会館小ホール第9回リリカ幸楽会コンサート



三重支部 支部長:福嶋正俊

今年度は4月に松阪コミュニティ文化センターで新人4人を迎えてフレッシュコンサートを行いました。クラリネットとギターの演奏、フルート独奏、オペラのアリアの独唱など盛り沢山の演奏会となりました。合唱は、林誠先生に指揮していただき、まどみちおさんの合唱組曲を演奏しました。8月には、岐阜支部の演奏会にご招待いただき、岐阜支部の方達と共に合唱をしました。2011年4月17日に青山ホールにおいてフレッシュコンサートを、11月27日に三重支部30周年記念コンサートを同ホールにて予定しています。



石川県支部 支部長:四柳由恵

石川県支部では来年8月18日「ヤマハ開進センター」で総会とセミナーを予定しています。

久しぶりのセミナーでは、1年半おきにしていたコンサートから又気分新たに計画しています。

昨年の韓錦玉さん(声楽)、黒崎菜保子さん(ピアノ)が「ジョイントコンサート」「名曲た〜んとコンサート」で好評演奏いたしました。又、四柳由恵さん(ピアノ)はコーラスと「30周年記念コンサート」や「能登半島地震被災3周年復興コンサート」で地元新聞・朝日新聞に大きく掲載されました。

金沢ではいろんな音大卒業生の演奏会がたくさんあり、とても刺激になります。

私達も地道に心に残る演奏会を心がけていきたいと思っています。

関東支部 支部長:東由桔子

関東支部は「首都圏」という広範囲ですので、それぞれの地域の会員の皆様に参加、交流しやすいように「地区懇親会」を催しています。

今年は、11月12日(金)横浜山手「港の見える丘公園内・イギリス館」にて開催しました。普段着での演奏(1組5分ほどの)に出演してくださいる方も含めて参加をよびかけたところ28名(うちコンサート出演8組12名)の参加がありました。素敵な洋館で、穏やかな秋の日の午後を、コンサートとおしゃべり(もちろん関西弁の!)で、楽しく、贅沢!に過ごしました。

次年度(平成23年度) 関東支部 行事予定

- *平成23年5月15日(日) 総会・懇親会
- *会報発行 春号秋号の2回
- *会員出演コンサート Tutti のタベ 開催
- *会員の生徒さん出演のコンサート 開催
- *地区懇親会またはセミナー開催
- *ボランティア演奏(老人ホームや病院などで)



福井県支部 支部長:堂田展江

平成5年に再編成して今年で18年目になりました。平成7年には県文化振興事業団より作曲セミナー開催に対して文化奨励賞を受賞しました。合唱やピアノ講座・会員によるコンサートや会員の子弟による推薦演奏会も開催しました。

21年度は永井正幸先生をお迎えして、ショパン生誕200年によせて敦賀市きらめきみなと館で会員・市民むけに「楽しいピアノ講座」を開催しました。永井先生のショパン名曲演奏と解説は会場の人達を魅了しました。

結成20周年を目標に、また、大学のますますの繁栄を願って、これからも地道に活動していきたいと思っています。

総会:2011年4月3日(日)午後1時30分 プラザ萬象
行事予定:2011年11月コンサートまたはセミナー



北海道支部 支部長:明楽みゆき

支部会員は、北海道を仕事の拠点として地元の人たちにも喜んで頂く音楽活動を活発に展開中です。転勤して北海道に来た仲間も積極的に教育活動やコンサートを始めており、大学で受けた教育とその後の研鑽を開花させて頂きたい、その応援を柱として北海道支部は動いています。また、今年度は全国各地との文化交流を軸とする「現代版北前船プロジェクト」を立ち上げ、各地の要望に答え、音楽家交流の企画事業も始めました。江戸時代の北前船が大阪を起点として北海道と本州各地を結ぶ航路で各地に食と文化の賑わいをもたらしたように、現代版北前船では、北海道発信で本州各地との連携を取り、音楽を始めとする文化交流を考えています。多くの在学学生や卒業生の方々とも一緒に活動したいと考えています。是非、全国に向け、大音発信の文化プロジェクトを進めませんか。



左:声楽メンバー(左より和田、和田、桐野、中川、川谷)恒例のシェラトンホテルクリスマスコンサート。拍手喝采でした!
右:高木福光氏、石狩美術館登場!
アールヌーボー展示にあやかり大正期の日本歌曲を歌う。

岐阜支部 支部長:服部みすず

活動の軸は2つの演奏会と年1回の総会です。2010年度は8月29日(土)にサラマンカホールで第47回幸楽会岐阜支部演奏会を開催。背景に吊るした長崎の中学生制作の原爆タペストリーは大変印象的でした。また、初めての試みとしてもう一つの活動である推薦演奏会の金賞銀賞受賞者のオープニング演奏を企画しました。推薦演奏会は母校より審査委員長をお招きして公開レッスンも行っています。第38回推薦演奏会は2011年1月10日(月・祝)(講師中尾蘭子先生)開催、第48回幸楽会岐阜支部演奏会は8月7日(日)開催予定です。半世紀近い歴史を持つ岐阜支部ですが、この伝統を将来に向けて受け継ぎ、会員の交流を深めていきたいと思っています。



富山県支部 支部長:藤澤則子

22年度10月31日に荒田祐子教授をお迎えして声楽の個人レッスンをしていただきました。イタリア語の発音、プレッシング、フレージングなど御指導いただき、また受講生の質問にも丁寧に答えて頂き大変有意義な時間を過ごす事ができました。また富山県高等学校文化連盟合唱専門部からの要請で田中由也准教授による男声パワーアップ講習会、学校別講習会が5月~10月の間で計10回実施されました。

新年度は9月25日に研究発表会を予定しております。近年、出演者が固定化してきており若い方々に参加をしていただければと思っています。

幸楽会支部通信

熊本県支部 支部長:崎元啓子

8月に熊本支部主催で、「北野徹とパーカッショングループ大阪」のコンサートを開催しました。どなたでも楽しめる内容で、先生の楽しいおしゃべり、フライパンや木魚まで使った演奏に、皆さん「楽しかったあ」と、ニコニコ顔で会場を後にされました。

猛暑の中、楽器を積んで往復20時間、運転して来て下さった4人の皆様に、心から感謝致しております。ひとつの企画をみんなでなすと、熊本支部の結束も固くなりました。



鳥取県支部 支部長:清水淑子

今年の総会は5月9日、「音大同窓生らしい総会を」という思いから、ピアノと声楽の『ミニコンサート』から始まり、議事後、ティータイムも持ち和やかな雰囲気で行うことができました。

議事内容は幸楽会総会の報告、出張(出前)コンサートの募集、会員の集結についてなど。

県内は東部、中部、西部に分かれており現在は会員の少ない中部で総会を開催しております。会費納入率は68%ですが、出席率が悪く頭を痛めております。

個人ではオペラやコンサートにご活躍の会員もいらっしや、今後も期待されます。

大分県支部 支部長:中川國生

大分県支部では、8月29日(日)に大分県支部第10回記念演奏会を開催いたしました。

今回は大阪音楽大学音楽文化振興財団の後援を頂き、在学生の金管5重奏団「ビエンチプラス」の皆さんが、若々しく素晴らしい演奏を聞かせてくださいました。又、九州交響楽団チェリストの市 博成氏(大阪音大卒)と市先生が指導されているチェロアンサンブル「ローチェ」の皆さんにも福岡からお出で頂きチェロ6重奏やピアノトリオを演奏していただきました。支部会員の演奏(4名)と奏りコーダーアンサンブル(支部会員主宰)を含め3部構成のステージ、270名を超えるお客さまも最後まで楽しんで聞いていただけたようでした。音楽大学の支部演奏会とすればこれだけの観客が集まることは珍しいことで、しかも地元の新聞に写真入りで記事が掲載され、支部会員一同嬉しく又ホッといたしました。いろいろとご尽力くださいました、多くの方々に感謝申し上げます。



岡山県支部 支部長:松本義弘

平成22年もクアアチャイムの演奏を中心に、微力ながらも「社会に貢献できる音楽活動」を目標に年間の行事予定を組みました。

8月には岡山県出身の大音在生と県支部幸楽会会員での「第7回ふれあいコンサート」を開催し、9月には病院での恒例慰問コンサートを開催、11月にはクアアチャイム奏里和)にとって初めてのスクールコンサートに挑戦しました。とりわけ、500名の子供たちのチャイムに対する興味津々の眼差しと、最後に全員で歌った彼らの素晴らしい歌声に奏里和チーム一同感動を受け、次回への取組みに向けての新たな意欲を固めました。

来年度もみなで構想を練りながら少しずつ前進していきたいと思っています。

第8回「ふれあいコンサート」平成23年9月23日(金・祝)岡山県立美術館ホールにて開催予定。



徳島県支部 支部長:中谷洋子

徳島県支部では、第12回幸楽コンサートが2011年3月27日(日)に開催されます。

当初は「舞台上に立てる感動をもう一度」と卒業生だけの出演でした。現在ではこれからの県支部を支えてくれる在学生にも出演して頂き、コンサートが交流の場であり、懐かしい顔に出会える同窓会のようなでもあります。

親子ほど年齢差はあっても音楽を通して、幸楽会を通して皆さんが仲良くなれる場でもあります。

四国では徳島だけが微力ながら活動しています。香川、愛媛、高知の幸楽会会員の皆様も仲間づくりに参加しませんか。お待ちしております。



広島県支部 支部長:久保幸代

2010年度広島支部は新体制を整え来年度にむけての準備の年となりました。

12月に予定しておりました会員の生徒さん達によるジュニアコンサートが出演者の確保が難しく開催することができませんでした。

事務局もお世話を下さる方に長年多大なる負担をおかけしてしまっていました。

このような反省から事務局の仕事分散し演奏会にむけての準備を早くから進めるために急遽臨時総会を開きました。

急な開催のため、集まって下さった会員の方は数名でしたが、有意義な会議となり来年度にむけて早速始動準備を整える事ができました。

同窓会として大学から求められる役割と会員の方々の演奏と交流としての場を持つという役割を二本柱として新たな出発の年としていきたいと意気込んでおります。

京都府中丹支部 支部長:河田英子

私たち幸楽会中丹支部は平成22年度、幅広く音楽に親しんでもらおうと活動してきました。福知山市市民憲章推進委員会によりほのぼのコンサート、厚生会館主催のガラコンサート、金谷公民館主催の敬老会、東源寺ふれあいコンサート、テレジア幼稚園クリスマス会に出演させていただきました。

来年度はもっと多くの幸楽会会員の方に積極的に活動に参加していただけたらと思います。そして、多くの演奏会に出演し、これからも勉強していきたいと思っています。それとともに、多くの人びとに音楽の素晴らしさを伝えられるよう頑張ります。

姫路支部 支部長:井上敏典

姫路支部は総会を5/8(日)お城の見えるレストラン「ミレ」、第13回定期演奏会ムジカメールコンサートを6/26(日)姫路キャスパホールで開催します。母校や地域音楽文化への貢献や会員の親睦はもちろん、主催行事へのご招待や演奏会チラシの発送代行、リサイクル等へ後援金拠出など、会員へのサービスも充実しております。姫路および西播磨地区在住またはご出身のかたはぜひともご入会ください。※別途年会費2000円が必要です。

お申し込みは kougaku_himeji@yahoo.co.jp まで。写真は2010年6月27日開催の第12回定期演奏会「ムジカメールコンサート」。



支部は **今**

今回の特集は、奈良県と広島県東部です

奈良県支部

支部長：山本壽太郎

昨年度奈良県は平城遷都1300年記念で、支部会員の活動は目覚しくにぎやかに母校の華を各地で咲かせました。

創作オペラ「やまとの四季」 脚本・演出：石原昌和、作曲：山口福男・河合慎子・千秋次郎・川端政彦、指揮：石原喜久子、舞台監督：吉岡眞、オペットには川端浩之・小川順子ほか多くのメンバーが個々にパート楽譜を編成して実力を発揮。

春の部では東大寺声明、夏の部では茶席や華道を楽しむ人や、七夕祭り、芽の輪くぐりをして奈良音頭の踊りで、舞台いっぱい浴衣で参加する児童や良民たち。秋の部では吉岡紘子の琴で采女伝説。冬の部では高野山般若心経で「谷行」を劇化。

二時間半の舞台が県立国際ホール超満員の観客とともに盛り上がりました。

平城遷都1300年県民大合唱企画を発足した森田有紀は「美わし倭」を作曲し、県内各地において合唱を指導。なら100年会館で「楽宴うるわしやまと」を230名の合唱で披露。若手の支部会員の活躍は宝物だと力強く思っています。

広島県東部支部

支部長：藤原勢子

我が支部は今年で24年目をむかえようとしています。音楽を通して大阪音楽大学でめぐり逢い、郷里に帰って同窓生として輪を繋ぎ合っていました。この間いろんな問題点も起こり、支部休止しようかと思う日々もありました。しかし、いろんな行事をこなすうち無意識に、繋がるものを感じています。その主なものとして、学生オケ演奏会3回、学生箏演奏会1回、ピアノ公開レッスン5回、毎年さわやかコンサート23回、ウインターコンサート23回、まさに継続は力なりといったところです。

とくに今でも、印象に残っているのが、学生オケ演奏会で、公演日の2週間前に、あの阪神淡路大震災があり、勿論公演は中止、チケットの払い戻し、ホールキャンセル、と経験がないものだから、会員皆で頑張ってこ舞いしたことです。其の心労は大変なものがあり、ホールキャンセルにおいては、市の施設で規約ですからいかなる場合も使用料は返金できませんと言われ・・・市長に直談判5回目に例外として認めてもらうことができました。このように音楽以外でも会員一丸となり取り組めたことが、今日の東部支部を担っていると思います。今後もミニ支部ですが頑張っていきたいと思えます。とくにクラシック音楽への理解を広めて行きたいと思っています。



第6回 リリー随筆

〈スイスを旅する〉

辻井 清幸

我が家の毎夏の恒例行事である海外旅行、行き先や各種チケット・アパートの予約など段取りは全て妻。一週間前に「はい予定表」と手渡される旅の楽ならぬ行程表には、ガイドブックには載っていない街や村への観光が幾つも組み込まれている。観光局のHPから情報収集をするらしいが、この「ミステリーツアー」がなかなか面白い。

さて今回のミステリーツアーで特に印象に残った所を紹介しましょう。

まずはアニヴェイェの谷の隠れ里、人口400人ほどの小さな村「グリメンツ」。こげ茶色の家とゼラニウムの花のコントラストが実に美しく、時が止まったかのような静かな山村。ただしバスは一日7便。

時間の余裕があればぜひ一度訪れてほしいのがスイスの温泉。「ロイカーバード」は日本ではほとんど知られていませんが、背後に迫りくるゲンミ峠の絶壁を眺めながらの入浴は身も心も癒され格別。

今回の旅で最も印象的だったのがエッグスホルンから眺めた「アレッチ氷河」。足元まで迫るゆつたりと流れる白い大河。ヨーロッパ最大＆最長の規模はさすがに圧巻。ユングフラウヨッホ展望台に行かれた方は、ぜひ次回は反対側からの三山と氷河をご覧になることをオススメします。

ただ一ヶ所残念だったのが「アローザ」。スイスの大自然を表現したスパーク作曲「アローザ」のための音楽「のイメージ作りに役立てばと思ったが、一ヶ月間の滞在で唯一雨に降られ山頂に上るのを断念。しかし次回リベンジという楽しみもできた。

スイス旅行は急ぎ足で駆け巡るのではなく一ヶ所に長く滞在して、青く輝く湖、白い雪をまとったアルプスの山々、シャンパンのように澄んだ空気をゆっくり味わいたいものだ。

次回は、武岡登士子さんにバトンをお渡します。



アレッチ氷河



ロイカーバード



グリメンツ



大阪音楽大学9期生 同窓会の報告

還暦の時の同窓会以来5年ぶりの同窓会でしたが、約120名中34人が集まり楽しい一時を過ごしました。当日は遠くはスイスから九州から、東京からと遠路来てくれた人もいました。会場はホテル阪急インターナショナルで足場もよく雰囲気も良い会場であったと思います。

開催の挨拶、会計報告、大学の近況報告などの後、歓談、それぞれの自慢の腕の披露、ピアノと歌によるジャズ、ポピュラー演奏、歌のソロ、コーラス、ピアノソロと盛りだくさんで会が大いに盛り上がり、最後に全員で「ふるさと」「校歌」を合唱して会を締めくくりました。今回は時期的に親の介護、孫の世話などで出席出来なかった人が結構多く、次回を楽しみにしておられる様なので、次回は3年後開催という事で、再開を約束してお開きとなりました。



2010・10・3(日)12時開演
於 ホテル阪急インターナショナル

大阪音楽大学52卒業 同窓会の報告

年明け早々の1月5日、新阪急ホテル「星の間」にて、昭和52年卒業生のミニ同窓会を28名の出席で行いました。母校ピアノ教員の伊藤勝君の乾杯の音頭に始まり、上田真紀子さん(旧姓吉川)の司会で進行しました。ほとんど出席者が卒業以来の再会で、初めは緊張した様子でしたが、一人一人の近況報告が終わる頃にはすつかり和み、予定の2時間はあつという間に過ぎてしまいました。そしてほとんど全員が二次会へと繰り出し、話は尽きません。音楽現場の第一線で活躍中の者、各教育機関や自宅で後進の指導にあたる者、地域に密着した音楽活動を実践する者、子供も独立し、余暇を生じる音楽鑑賞三昧で過ごす者、それぞれが違いこそあれ、何らかの形で音楽と関わった生活を送っているようです。幸楽会の会員名簿を確認し合い、来年は全体会を開催すべく、幹事4名を選出してお開きとなりました。



同期会を開催された時は、
幸楽会事務局までお知らせ下さい。

☎06-6334-2832
kougaku@daion.ac.jp

付属音楽高等学校 同窓会の報告

昨年10月17日に私たち付属音楽高等学校昭和37年卒業生と37年卒業生の同窓会を母校の学生食堂「ばうぜ」で開きました。2年ごとに開くことで定着しておりますが、最近はいつものコンサートから始めております。卒業して10年になりますが、この日のためにしっかりと練習して臨んでくださる方々がおいになり、聴くだけの方も懐かしく楽しく聴かせていただいていたうれしかぎりです！毎回ご出席いただいていた声楽の斉木幸子先生は体調を崩され残念ながらご欠席でちよつと寂しいでした。

私たちが入学したときから担任してくださいました斉木先生が80歳で傘寿！英語の矢野(旧姓西岡)先生が77歳で喜寿！という喜ばしい年でしたので、そのお祝いの会も合わせてやらせていただきました。

場所は「ばうぜ」のおかげでコンサートもでき、お料理も花も超格安でお引き受けくださり、次回からは会費もお安くできますので幹事としてはとてもありがたいことでした。



エクステンションセンターからのお知らせ

2011年度も教員免許更新講習を実施します。教員免許更新制が2009年4月から導入されました。大阪音楽大学では2011年度も教員免許更新講習を行います。2011年3月に募集案内を発行し、4月に申込みを受け付ける予定です。申込み多数の場合は抽選し受講者を決定しますが、卒業生には抽選の際に配慮します。奮ってご応募ください。

お問い合わせ・お申し込みは、
連絡先 ☎06-6334-2442

演奏会に幸楽会の後援名義を使用される会員の皆様へ

後援名義に記載する場合は、
大阪音楽大学同窓会「幸楽会」としてください。

使用していただいた演奏会は、ホームページと大学の広報誌Museに掲載いたします。ただし、Museは締切りの関係で掲載できないことがありますので、幸楽会のホームページまたは幸楽会事務局でご確認ください。

幸楽会後援演奏会ページURL
<http://concert.kougakukai.net/>
名義使用申請フォームURL
<http://www.kougakukai.net/form/meiji.html>

メンバー専用サイトのパスワードが変わります

個人情報が含まれるデータ(写真等)を会員が閲覧できるようにするために、パスワード制限を設けています。会員専用ページにアクセスするためのIDとパスワードは以下のとおりです。
(すべて小文字)
(4月1日から)
パスワード

第44回 幸楽会コンサート

2011年1月10日(月・祝)13時開場・14時開演

音楽事始 晴れやかに

2011年の幸楽会「ニューイヤークンサート」は1月10日(月・祝)に幕が開きました。ロビーに置かれた大きな金屏風の前ではお正月らしい着物姿の市ノ瀬佳子さん、藤井紗代子さんによる箏の演奏がロビーコンサートとして花を添え、開演を待つ大勢のお客さまにお正月ムードを味わっていただくことができました。



今年のコンサートは幸楽会のコンサートとしてはめずらしくジャズがあり、そしてピアノ・アンサンブル、オペラ・ガラと幅広くお楽しみいただけただけではないでしょうか。昨年亡くなったことが惜まれる世界的なジャズピアニストのハンク・ジョーンズ師ゆかりの曲が4曲演奏され、改めて偉大であった客員教授を偲びました。第二部はピアノアンサンブル。ガーシュイン・ラフマニニョフ・イン・ブルーが藤井快哉さん、油井美加子さんのピアノ2台で演奏され、第3部のオペラ・ガラへ引き継がれました。ピアノ2台による伴奏でアリアや4重唱などの楽しい舞台になりました。

ニューイヤークンサートにお越しくださいました中村孝義理事長・学長にミニインタビューしました。

コンサートはいかがでしたか？

とても良いコンサートで、楽しむことができました。ジャズは、たんたんながら渋く、奥行きが深い演奏でした。がらっと替わったピアノ・アンサンブルは躍動感あふれる演奏でした。ガーシュインの作品で、ジャズとつながりを持たせながらつなげていたのは選曲が良かったと思います。続くオペラ・ガラは卒業生の人材の豊かさを見せ付けてくれました。それぞれが力を発揮し、それをオペラハウスの生み出す豊かな音で多くの方に伝えられたコンサートでした。



幸楽会に期待することは？

100周年に向けて大学の今の状況を幸楽会として発信して欲しい。もうひとつは京阪神地区のネットワーク作りをして欲しい。様々な分野で活躍している方々のネットワークを作ることで助け合うこともでき、より大きな力となる。卒業生の力も多くの方に知って欲しい。

2011年は大学と幸楽会にとつてどのような年になれば良いですか？

2011年は2015年の100周年に向けた初年であることを認識し、大学と幸楽会とが手を組み歩調を合わせていくところと補完しあうところを見極めてお互いを高めていく努力をしたい。

赤松二郎

いつもお天気に恵まれて、お客さんがいっぱい来てくれて嬉しかったです。ほとんどPAなしでこれだけのジャズが演奏できるのは、素晴らしいポイントだと実感しました。ハンク・ジョーンズ先生が亡くなったことは残念ですが、それを継いで学生や教員みんなが頑張っているように思います。

油井美加子

楽しかったです。お客さんと一体になれて楽しい空間でした。

藤井快哉

とてもゴージャスな演奏会。出演できて夢のようです。層の厚さを感じ、その一員であることを光栄に感じています。

田中友輝子

卒業生だけでこれだけのコンサートが企画できて、素晴らしいです。

平岡洋子

素晴らしいルチャアで、今年の幕開けに相応しい、心地よい集中力で吹かせていただきました。

尾崎比佐子

新春ということでも、とても華やかな演奏会になったと思います。

若原 雅彦

ジャズがありクラシックがあり、大阪音楽大学の特色を出せたように感じますし、いつもと違う感じで楽しんでいただけたのではないかと感じました。

晴雅彦

様々な分野の第一線で活躍する演奏者が古巣に集まり、1つの演奏会を自分達のホールで作り上げる。大阪音楽大学だからこそ、とても素晴らしい演奏会だったと思う。

柘貫志

学生の時にも歌ったこのオペラハウスで、ホームグラウンドで歌えて、改めてやっぱいいホールだと思いがした。お客さんも温かくて。今回出演できてよかったです。

今回、こんなに凄い機会に、凄いメンバーの方々の中で出演させて頂けて嬉しかったです。2台ピアノでの伴奏も素晴らしいです。

中川正崇

Duoとしては演奏してはいますが、歌やフルートと共演するのは初めてでしたし、貴重な経験になった。

木村貴子&関口康祐

いつも1人対1人での演奏が、2対1、3対1、5対1と可能性が広がり、今回このような素晴らしい機会を与えてくださったことを感謝いたしております。

矢野前幸楽会会長

ニューイヤークンサートらしい、華やかな演出でした。Jazzも含めユニークなプログラム内容に十分満足しました。来年も楽しみにしています。

58歳男性、幸楽会会員

若い頃からのハンク・ジョーンズ氏のファンです。メンバーの師への暖かい思いが感じられる、素晴らしいセッションでした。ラフマニニョフも楽しめました。

男児、ピアノ学習中

女の人の高い声、とてもきれいでした。みんな、長い曲なのに覚えていることに驚きました。Jazzはスミスでした。(敬称略)



携帯電話からアクセス
幸楽会の各情報は、携帯電話からでも見ることが出来ます。
幸楽会後援者義演使用演奏会情報
<http://concert.kougakukai.net/>



第45回 幸楽会コンサート
2012年1月15日(日)
詳細が決定しだいホームページに掲載いたします。
ぜひ多数ご来場ください。

予告
Kougakukai Concert
幸楽会コンサート

編集後記

第12号をお届けします。わが母校も2015年に100周年を迎えます。伝統の重みをしつかりと受け止めて、次の100年をめざして新たな幕を開けられるようにと願います。幸楽会も会員の皆様の声にもっと耳を傾けて、より身近な存在になるようにと思っています。声をお寄せください。では総会の会場でお会いできるのを楽しみにしています。